

初雪

明治二十年

作詞、作曲 初代 清元 菊寿太夫

初雪はつゆきに降り込められて向島むこうじま

二人おきごたつが中に置炬燵

酒さけの機嫌つまびの爪弾つまびきは

好このいた同志どうしの差さし向むかかい

嘘うそが浮世うきよか浮世うきよが実じつか

誠まことくらべの胸むねと胸むね

